

山人のさかんと故あかりかまを腰はぎる信濃國
かゝりよーまわの言とてつとせ終ふ一酒坊より
あゝあゝ終ふさゝ言いふげんちの言いふ言をせん
てすーすう酒坊のさうは也酒坊のさうさ
素い十一めんをん素いやけんちり酒坊のさ
素いやけん素い言をんちり是はよかに仙也
そせあるをいふさゝむるの百洲國がちり
いふはるは
病の條はちんこりあるいはるあるからせん